

第19回大分県障がい者スポーツ大会 個人競技参加申込書記入要領（様式3）

1 参加申込みにあたって

大会当日、会場には報道機関やボランティア等が来場し、大会事務局の広報誌やホームページにも写真等を掲載する可能性がある。また、大会プログラムには氏名・性別・障がい区分等を掲載する。以上のことに同意の上、申込みこと。

2 各項目の記入要領

①出場競技

出場を希望する競技を○で囲む。複数競技に出場の場合は競技ごとに参加申込書を作成すること。

なお、同日開催競技（陸上競技・フライングディスク）については、重複して参加することはできない。

②氏名

参加選手の氏名を記入すること。

③性別

現在の戸籍上の性別を記載すること。該当する番号を○囲みする。

④生年月日、年齢

生年月日と令和5年4月1日現在の年齢を記入すること。

⑤住所

郵便番号、住所、電話番号（日中連絡が取れる番号）を記入すること。

⑥所属

施設・学校・勤務先等の名称及び担当者名、電話番号を記入すること。

⑦身体障害者手帳

手帳に記載されている「手帳の交付都道府県市（区）名」、「手帳の交付番号」、「等級」を記入すること。

また、障がいの原因となっている傷病名及び手帳に記載されている障害名を記入すること。

⑧療育手帳

知的障害者部門に出場する方のみ、手帳の「有」又は「無」を○囲みすること。

- ・「有」に該当するのは、次のいずれかの場合。

ア 既に療育手帳の交付を受けている

イ 参加申込時点で療育手帳の交付を申請中

- ・「無」に該当するのは、次の場合。

療育手帳の交付を受けていないが、取得の対象に準ずる障がいのある場合。

⑨精神保健福祉手帳

精神障害者部門に出場する方のみ、手帳の「有」又は「無」を○囲みすること。

- ・「有」に該当するのは、次のいずれかの場合。

ア 既に精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている。

- イ 参加申込時点で精神障害者保健福祉手帳の交付を申請中
- ・「無」に該当するのは、次のいずれかの場合。
 - ア 自立支援医療（精神通院）受給者証を取得している。
 - イ 取得の対象に準ずる障がいのある場合。

⑩重複障害

- ⑦～⑨で記入した障がいのほかに、重複する障がいがある場合は、該当するものを○で囲み、「7 その他」の場合は（ ）内に障害名を記入すること。
- また、重複する障がいがない場合は、「0：なし」を○囲みすること。

⑪障がい区分

（別表1）をもとに出場競技に○をして、該当する障がい区分の番号を記入すること。

⑫出場種目

- ・第1種目及び第2種目（第1希望）を記入すること（陸上競技のみ第2種目（第2希望）まで記入）。
- ※障がい区分によって出場できる種目が異なるため、必ず（別表1）を確認すること。
- ・フライングディスクの2種目出場は次のとおり。
 - 可・・・ディスタンスとディスリート5／ディスタンスとディスリート7
 - 不可・・・ディスリート5とディスリート7
- ・陸上競技の競走競技は50mと100m、跳躍競技は立幅跳と走幅跳、投てき競技は障害区分8を除き、ソフトボール投とジャベリックスローの両方に申し込むことはできない。
- ・水泳のチャレンジレース出場の方は、チャレンジレースのみの参加とする。
- ・1種目のみの出場希望の場合は、第2種目（第1希望、第2希望）の欄に「なし」と記入すること。

⑬競技中に使用する補装具等

- 競技中に使用する補装具について、「有」又は「無」を○囲みすること。
- 「有」の場合は、該当する番号や項目を○で囲み、「15 その他」の場合は（ ）内に使用する義肢・装具等を記入すること。

⑭特記事項

該当する番号、項目を○で囲み、必要事項を記入すること。

⑮全国障害者スポーツ大会出場希望について

- 全国障害者スポーツ大会大分県選手団の派遣選手は、大会出場希望者の中から、第18回大分県障がい者スポーツ大会の結果をもとに選考する。
- 大分県選手団派遣選手として選考された場合、全国障害者スポーツ大会への出場を希望するかどうか「希望する」または「希望しない」を○囲みすること。
- ※説明会や大会の日程については、「個人競技参加申込書」を確認すること。
- ※精神障がい（卓球を除く）及び内部障がいのある方は選考の対象外。

その他

リレー（陸上及び水泳）の個人参加枠は廃止とするため、必ず4人でチームを組んで、リレー参加申込書を提出すること。様式は大分県障がい者スポーツ協会ホームページ等よりダウンロードすること。